

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

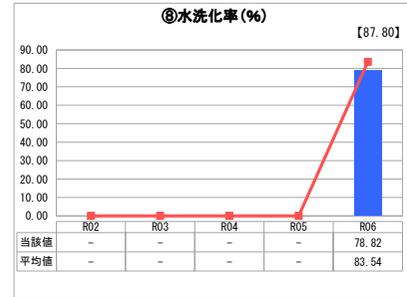
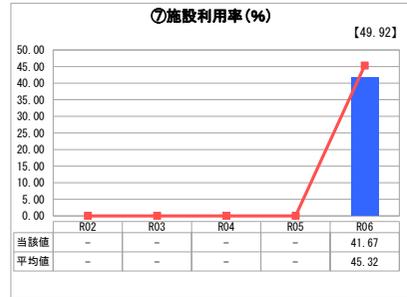
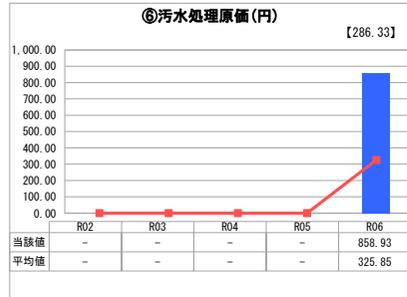
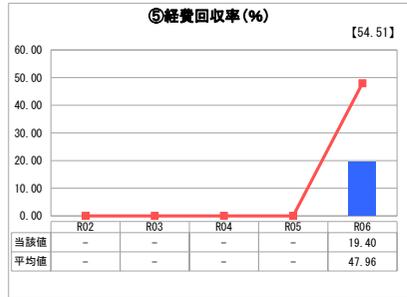
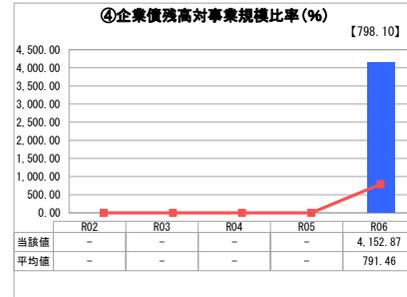
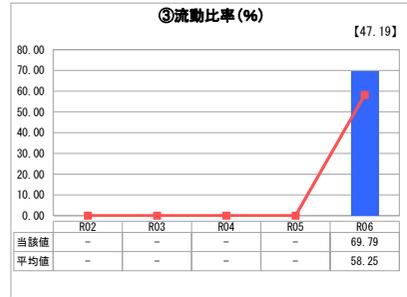
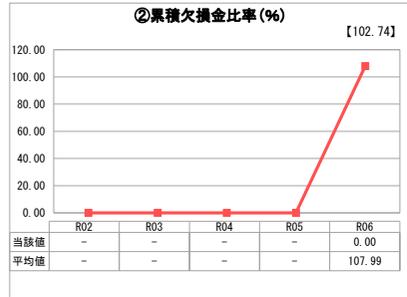
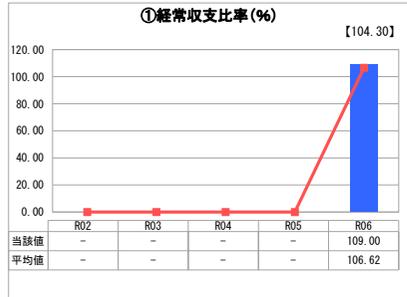
青森県 七戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	7.99	5.62	89.15	3,300

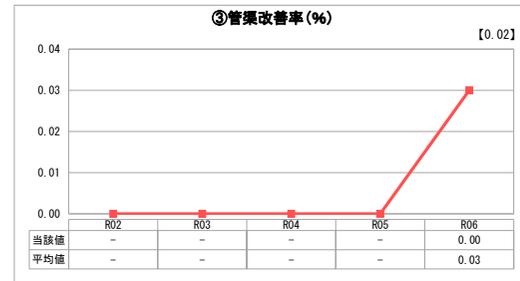
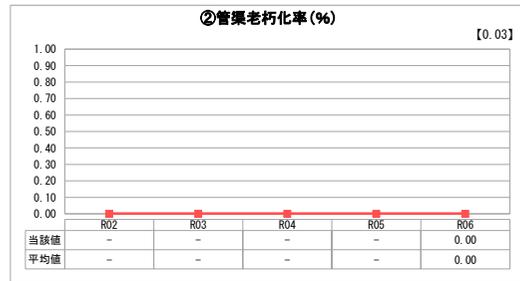
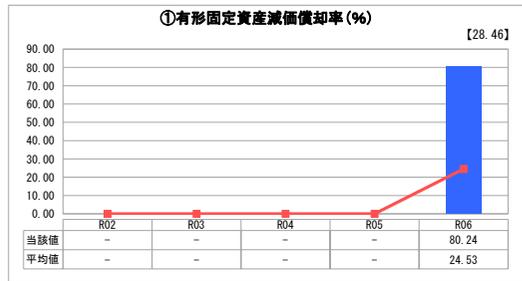
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,014	337.23	41.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
779	1.21	643.80

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、利用料収入以上の維持管理費となっているため、今後は業務の広域化等の検討を行いながら支出の削減に努める。  
 ②累積欠損金比率は、令和6年度は0%だが減価償却や支払利息が占める割合が高いことから今後は率が高くなることが想定される。  
 ③流動比率は、類似団体平均値よりも高いもの、引き続き短期的な支払いに備えた資金の確保に努める。  
 ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値よりも高くなっているため、投資規模の見直しなどを計画的に行っていく。  
 ⑤経費回収率は、経営が一般会計繰入金によって賄われていることから良い経営状況とは言えない、今後利用料の見直し検討を進める。  
 ⑥汚水処理原価は、類似団体平均値に比べ高くなっているため、投資の効率化や維持管理費の削減、接続率の向上などの取り組みを引き続き行っていく。  
 ⑦施設利用率は、類似団体平均値に比べやや低くなっているが、施設が過大なスペックにならないよう継続し進める。  
 ⑧水洗化率は、類似団体平均値に比べやや低くなっており、人口減少や高齢化などが要因と考えられる。今後も広報活動など広く周知を行う。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値よりも高くなっている。中野西地区が平成15年に供用を開始し21年が経過、四ヶ村地区が平成18年に供用を開始し18年が経過している。  
 処理施設は、電気機器設備等の標準耐用年数が超過していることから、交換や修繕が必要な現状であることから、最適化整備構想に基づき処理施設の長寿命化を図っていく。

## 全体総括

農業集落排水は、令和6年度から公営企業会計を適用しているため、前年度までの比較はできない。  
 農業集落排水の経営健全化・効率化に向けての取り組みとして、ホームページや広報誌などで下水道への接続を促し水洗化率の向上に努めるとともに、使用料等の徴収については水道料金の徴収と連携し、継続して徴収事務の強化を行う。  
 また、下水道事業を将来に渡って安定的に継続していくため、町の財政負担の軽減しながら経営健全化に向けた経営改善を行う。  
 更には、維持管理経費の削減を図るため共同化・広域化の検討について、県・関係機関とも協議を進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。